

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2025年度)

施策コード	51
-------	----

まちづくりの方針	5 協働・行財政運営							
施策	1 市民活動・コミュニティ							
施策のめざす姿	地域づくりを担う様々な主体が、お互いに理解し尊重しあいながら、対等の立場で協力し、共通の目的を達成するために自発的に活動しています。							
まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
津島市公益活動団体バンク登録数(団体)【市民協働課】	156	156	161	141	154		180	200
町内会や自治会の活動に参加している市民の割合(%)【市民協働課】	47.1	—	—	—	—		49.6	52.1
地域活動やボランティア活動等に参加している市民の割合(%)【市民協働課】	21.2	—	—	—	—		25.0	30.0
より良い地域づくりを考える講座や交流会の開催数(回)【市民協働課】	10	2	2	2	2		15	20
施策の方針	担当課	実績・成果						
1 協働のまちづくり【重点】	市民協働課	まちづくりに関する情報を情報誌やSNSなどを活用し発信するとともに、協働に関する市民の理解や意識を育むための講座を開催した。様々な主体が交流する場の提供をすることで協働の輪が広がった。市民活動団体提案への補助を実施し、公益的な活動の活性化を図った。						
		市民・市民活動団体等に講座などを開催し、協働に関する市民の理解や意識を育む。様々な主体が交流する場の提供をすることで協働の輪を広げる。市民活動団体等の提案を様々な主体(市民・行政・企業・地域)とで協働し地域の問題解決に繋げるような仕組みをつくる。						
2 コミュニティ活動の活性化【重点】	市民協働課	地域活動の情報をコミュニティ誌やSNSなどを活用し発信するとともに、地域コミュニティ団体の情報交換会を開催し、市民のコミュニティ意識の向上と育成を図った。また、各地域の情報を収集し、特色ある取り組みやノウハウを共有し、コミュニティ活動の充実を図った。居場所づくり事業を実施することで、地域の集う場を提供した。						
		地域活動情報を積極的に発信するとともに、地域コミュニティ団体の情報交換会を実施し、特色ある取り組みやノウハウを共有し、コミュニティ活動の充実を支援していく。少子高齢化や核家族化によりコミュニティ意識の希薄化、担い手不足など地域の実情に合わせた支援を行っていく。						

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	市民活動情報や地域情報の発信、市民活動に関する講座を開催し、市民活動団体の意識の向上を図った。様々な主体が集う場を提供し、協働のまちづくりの輪を拡げた。市民活動団体等の提案への補助や、町内会、コミュニティ推進協議会の活動に対し補助を行い、様々な主体が自発的に活動できるよう支援した。地域コミュニティ団体の情報交換会を開催し、各地域の情報を収集し、特色ある取り組みやノウハウを共有し、コミュニティ活動の充実を図った。	評価
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	市民活動に関する講座の開催などにより、市民協働に対する意識の向上と団体の育成を図る。地域づくりを担う様々な主体が交流し、お互いに理解し尊重しながら地域の課題解決ができる仕組みをつくる。町内会、コミュニティ推進協議会の活動に対し継続して補助を行うとともに、地域活動を支援する。市民活動団体等の地域課題提案事業を実施し、多様な主体による更なる公益活動の活性化を図る。少子高齢化や核家族化によりコミュニティ意識の希薄化、担い手不足など地域の実情に合わせた支援を行っていく。	方針 継続